

MOOCのコミュニティ参加が学習者の認知に及ぼす影響

安西 弥生

教育テスト研究センター；九州大学教材開発センター

MOOCsは、Massive(大規模)とOpen(オープン)に特徴付けられたインターネットを活用した遠隔教育で、オープン・エデュケーションの画期的な教育形態である。MOOCsは世界の学習者に学習の機会を無料で開放している。また授業科目としてだけでなく、英語教育の観点からも、質の高い専門分野の英語教材で、留学の準備、留学体験となり得る可能性がある。しかし英語学習者にどのような認知的な影響を与えるか明らかでないので、本研究ではMOOCsの特徴であるコミュニティに焦点をあて、統制群と実験群の二群比較の実証実験を行った。その結果、学習者はコミュニティに参加すると、MOOCの認識が有意に変化し、特に学習者の「オープン・ラーニング」の認識に影響が出ることが明らかになった。

キーワード：MOOC, 英語教育, オープン・エデュケーション, 自己効力, 異文化間コミュニケーション

1. はじめに

MOOCsは、大規模公開オンライン講座(Massive Open Online Courses)の略語で、Massive(大規模)とOpen(オープン)に特徴があり教育に大きなインパクトを与える可能性がある(Kim, 2015)。MOOCsはオープン・エデュケーション/遠隔教育の流れを組み、2012年に専門分野での流行語となっている(Daniel, 2012)。MOOCsでは、海外のエリート大学の教授がグローバルな学習者を対象にオンラインで無料の講義を提供しており、受講に資格や受講者数に制約がない(Widavsky, 2011; Zhou, 2016)。英語教育の観点から考えると、良質の講義が教材であるので、留学のための準備あるいは留学経験になり得る新しい英語教育の分野といえることができる。また近年英語教育では、ヨーロッパでは教科学習と語学学習を統合したContent and Language Integrated Learning (CLIL)が急速に広まっており、MOOCsはこのような内容重視の英語教材となる可能性が高い。

MOOCsはインターネットを使った遠隔教育であるが、伝統的なメディアを使った遠隔教育と比較すると、MOOCでは学習者が多様な講座から選択ができ、「いつでも誰でもどこでも何についても」学べるユビキタスな学習環境が構築できる(Bonk, Lee, Reeves, & Reynolds, 2016)。また学習者同士、学習者と教員側がオンライン・コミュニティで交流ができるという大きな特徴もある(Anzai, 2016; Anzai & Akahori, 2015)。

2. 目的

本研究の目的は、MOOCsの特徴のひとつであるオンラインのコミュニティに英語学習者が参加することが認知にどのような影響があるか明らかにすることである。効果測定のために英語力への中間変数の尺度として開発したAnzai & Akahori (2016)の「MOOCs for EFL Learners」を利用し、効果を測定した。この尺度は「オープン・ラーニング」と学習者個人の「留学の自信」「異文化間コミュニケーション意欲」から構成されており、21項目からなる。

3. 方法

本研究の実験は2015年秋に実験室環境で行われた。参加者は60名の大学生で、各30名の二群に分け、統制群はスマホを使いMOOCを体験した。一方、実験群は、MOOC講義の体験に加えて、スマホでBBSを利用したMOOCのコミュニティに参加し、英語で学習者間の交流を行った。効果測定は、事前と事後のアンケートを二群比較で分析をした。

4. 結果

二要因分散分析の結果、「MOOCs for EFL Learners」の全体では有意な差があり、実験群は統制群よりも得点が高かった。因子ごとに検証をすると「オープン・ラーニング」では、実験群が統制群よりも $p < 0.5$ で有意に高かった。しかし、他の「留学の自信」と「異文化間コミュニケーション意欲」では実験群と統制群の二群に有意な差はみられなかった。

「オープン・ラーニング」の各項目を比較すると、二群に有意差があったのは、「空間的な制約を取り除ける」「私たちは、誰でも学ぶことができる」「学びの世界はオープンだ」であった。

5. 考察と結論

本実験からは、MOOCのコミュニティに参加するとMOOCs for EFL Learnersの値が高まり、「オープン・ラーニング」「留学の自信」「異文化間コミュニケーション意欲」の三要因では、オープン・ラーニングに統計的有意を示すことがわかった。オープン・ラーニングの項目別にみると、実験参加者は、コミュニティに参加することで、より教育へのアクセスが開かれていると認識していたことが示唆されている。Anzai (2011)は、オープンの認識は、アクセスが開かれていること、選択が多様であること、地球規模のコミュニティがあるという認識から構成されており、英語学習者の「オープンの認識」は英語力の向上に役立つ実証実験の結果を報告している。従って、MOOCを使った英語授業設計は英語学習に有効である可能性がある。

また、「留学の自信」「異文化間コミュニケーション」の要因においては、有意差はなかった。実験では、実験参加者がスマホを使い、BBSで、英語でコミュニケーションを活発に行っていた。しかし実験では、著者の実験アシスタントが外国人名で英語の書き込みを意図的に行ったが、基本的にはオーセンティックな異文化間コミュニケーション環境が整っていなかったため、短時間では、実験参加者本人の意識の変化までには及ばなかったと考えられる。

MOOCsの講義の言語は、75%が英語である(Shah, 2015)。受講者は、MOOCの講義を受講することで、教科内容を学習するだけでなく、該当分野の英語力が向上することを期待している(Wu, Fitzgerald, Witten, 2014)。従って、MOOCが学習者の認識にどのような影響があるのか、さらなる検証が必要である。

参考文献

- Anzai, Y. (2011). Effects of Open Instructional Design on Perception of Openness, Proficiency in English as a Foreign Language and the Learning Process: Development of Open Instructional Design Models (Unpublished doctoral dissertation). International Christian University, Tokyo, Japan.
- Anzai, Y. (2016.06.22-06.24). MOOCs for Equitable and quality learning, UNESCO's International Congress in ICT in Education, Hyatt Regency Hotel, Qindao, China.

- Anzai, Y. & Akahori, K. (2015). Openness, Self-efficacy, and Willingness to Communicate in a MOOC Learning Environment. In Simonson, Michael (Ed.), Annual Proceedings of Selected Research and Development Papers Presented at the Annual Convention of the Association for Educational Communications and Technology (38th, Indianapolis, Indiana): Vol. 1, (pp. 12 - 17). Indianapolis, IN.
- Bonk, C., Lee, M., Reeves, T., & Reynolds, T. (2015). MOOCs and Open Education around the World. Routledge
- Daniel, J. (2012). Making sense of MOOCs: Musings in a maze of myth, paradox and possibility. *Journal of Interactive Media in Education*, 3
- Kim, P. (2015). Massive Open Online Courses---The MOOC Revolution, New York: Routledge.
- NAFSA: Association of International Educators. Retrieved from https://www.nafsa.org/_/File/_/ie_mayjun14_forum.pdf
- Shah, D. (2015). MOOCs in 2015: Breaking Down the Numbers. Retrieved from <https://www.edsurge.com/news/2015-12-28-moocs-in-2015-breaking-down-the-numbers>
- Wildavsky, B. (2014). Evolving toward significance or MOOC ado about nothing? Retrieved from https://www.nafsa.org/_/File/_/ie_mayjun14_forum.pdf
- Wu, S., Fitzgerald, A., & Witten, I.H. (2014). Second language learning in the context of MOOCs. CSEDU 2014 - Proceedings of the 6th International Conference on Computer Supported Education Volume 1, 2014, pp. 354-359
- Zhou, M. (2016). Chinese university students' acceptance of MOOCs: A self-determination perspective. *Computers & Education*, 92-93, 194-203.